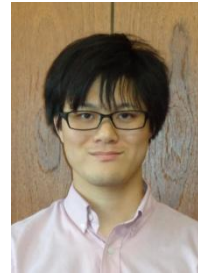


和歌山病院実習レポート



土屋 泰佑

今回、和歌山病院での実習の中で、とてもよかったと思える点が2つある。

まずは、普段と環境が変わったという点だ。恥ずかしながら普通の大学病院での実習は、自分が実習をこなすことに慣れてきたこともあり、ただその日その日をなんとなく過ごしてしまっただけで目的意識が低いまま過ごしてしまうときもあった。今回は環境を変えることによって、何を勉強するのか意識してセミナーに臨めたと思う。このように環境をかえることで、非常に集中できた。これから、目的意識をもち集中するといったあたりまえのことを自分が意識的にできるようになりたいと思う。

また、セミナー自体も自分自身で考えることを重視されていたため、とてもつかれた一方、普段のセミナーよりも記憶に残っているような気がする。特にレントゲンの読み方といった実習で使用頻度が高いツールであるにもかかわらず、なんとなく苦手なまま放置してきたことが理解できたことはよかった点だ。

いずれにしても、呼吸器内科のみならず医師になるうえで必須の習慣、能力の大きな足掛かりとなる実習だったと思うので、これからはいかしていきたい。